

Santen



Santen IBSA BLIND FOOTBALL

**WGP 2021**

in Shinagawa

# 見えない闘いは、 ここにもある。

果たして、開催すべきだろうか。

果たして、世界は待ち望んでいるだろうか。

世界が「見えない」闘いにある今、  
私たちにできることはあるのだろうか。

答えが見えない中で  
私たちができることを。

社会と、皆さんとともに  
実現できるやり方で。

それこそが、

私たちにとっての闘いなのだから。



# Greetings

大舞台は目前、ともに飛躍を。

国際視覚障害者スポーツ連盟 (IBSA) 公認の国際大会である「Santen IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2021 in 品川」が開催されますことは、大変嬉しく感慨深いものがあります。

今夏の東京パラリンピックを前に、日本で国際大会を開催したいという思いでスタートした本大会も、昨年の第3回大会の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための中止を経て、今回で第4回を迎えることができました。今年は、連覇のアルゼンチン、スペインをはじめ世界ランキング上位の強豪5カ国が出場いたします。

また、今年の開催に際してもタイトルスポンサーに参天製薬株式会社様についていただくことになりました。さらに、品川区、スポンサー、サポーター、ボランティア、運営スタッフはじめ携わった全ての皆様の並々な情熱とご協力があるからこそ心より御礼申し上げます。

品川区の皆様には、例年とりわけ熱いご支援をいただいております。一つの地域が一つのパラスポーツにしっかりと向きあい、地域に密着して取り組もうとする動きはロールモデルであり、全国各地に、そして世界に広がってほしいと強く願うばかりです。

さて当協会は、2024年に世界一であることをゴールに掲げ、東京パラリンピックでメダルを獲得することを目指しております。日本代表は、高田敏志監督のもと、以前より海外遠征や国内合宿を重ね着実に進化してまいりました。本大会はメダル獲得のための更なる貴重な強化の機会になるものと確信しています。

東京パラリンピックを前に、いま障がい者スポーツは大きなうねりの中にあります。当協会は、掲げているビジョン「ブラインドサッカーを通じて、視覚障がい者と健常者が当たり前に混ざり合う社会を実現すること」、ミッション「ブラインドサッカーに携わるものが障がいの有無にかかわらず、生きがいを持って生きること」に寄与すること」に向かって、今後も積極果敢に活動してまいります。心のバリアフリーや意識のイノベーションを推進することにより、共生社会の実現に貢献できるものと思っております。

安全安心をめざす本大会は無観客となりますが、全試合オンライン放送されます。どうぞブラインドサッカーの試合をご体感ください。今大会のキャッチコピーは「見えない闘いは、ここにもある。」です。日本チームの勝利とブラインドサッカーの醍醐味を、一緒に大いに楽しみましょう。

## Leap Together Ahead of the Biggest Stage in the World

I am overwhelmed with the joy to organize Santen IBSA Blind Football World Grand Prix 2021 in Shinagawa, an IBSA sanctioned international competition.

Following the last year's cancellation to prevent the spread of Covid-19 infection, this year marks the 4th edition of the competition, which had started as a runner-up international event to Tokyo 2020. We'll invite six world's top-ranking teams to compete including Spain, China and Argentina, with the latter vying for stretching its winning streak.

We're honored that Santen Pharmaceutical Co., Ltd. kindly backs up the competition again as a title sponsor. I would also like to take this opportunity to show my deep gratitude for all those involved in the competition, including Shinagawa City, sponsoring partners, supporters, volunteer and organizing staff for their tremendous passion and contribution.

Especially Shinagawa City has provided us the earnest support each year. The effort for one community to get engaged with a Para sport and to work closely with local residents serves a role model for others, whose message I wish should spread nationwide and far beyond. As an organization, we have set a goal to become the world champion by 2024, with a medal at Tokyo 2020 in mind. Under the leadership of our Head Coach Satoshi Takada, Team Japan has progressed steadily thanks to multiple overseas games and national camps. I'm confident that this competition will provide them a valuable opportunity of further development to win a medal.

Para sports in general are seeing a huge tide of transformation ahead of Tokyo 2020. Our association will continue to work hard to achieve our vision to create a society where both impaired and able-bodied people can live in harmony, as well as our mission to ensure that all blind football stakeholders can live with the purpose regardless of their disabilities. I believe that we can contribute to the establishment of inclusive society by promoting the barrier-free mindset and the innovation of awareness.

Though the competition is held with no spectators out of safety and security, all matches will be streamed live globally so that everyone can take in the atmosphere of the games. This year's slogan is; "Another Invisible Fight Here." We will invite you all to fully enjoy both the excitement of blind football and the victory of Team Japan.

Shiro SHIOJIMA,  
President of JBFA  
National Federation of Host Country



NPO法人  
日本ブラインドサッカー協会  
理事長  
塩嶋 史郎

## CONTENTS

- 02 — Greetings ごあいさつ
- 04 — What's "Burasaka"? ブラサカとは?  
World Grand Prix ワールドグランプリとは  
Outline 大会概要
- 06 — Message 1 品川区
- 08 — Message 2 北澤豪JIFF会長
- 10 — Message 3 参天製薬
- 12 — VISI-ONE Project 三者プロジェクト
- 14 — わたしたちの感染症対策の取り組み
- 15 — ブラサカみらいパートナー

「感覚を研ぎ澄ませてプレーするサッカー」  
ブラインドサッカーとは?

ブラインドサッカーは、アイマスクを装着したフィールドプレーヤー4人、弱視か晴眼のゴールキーパー1人がピッチに出て、音の出るボールを使って行う、フットサルをベースにした競技です。パラリンピックでの競技名は「5人制サッカー／Football 5-a-side」。海外では「Blind Football」と呼ばれています。本大会やパラリンピックのような国際大会ではフィールドプレーヤーは全盲に限られますが、国内のクラブチームでは晴眼者もプレーができます。障がいの有無に関わらず、誰もがチャレンジできるスポーツなのです。「ブラインドサッカー」「ブラサカ」は、このスポーツの日本国内での普及を目指し日本ブラインドサッカー協会が名付けました。ブラインドサッカーでは、選手は自分の考えで判断し、ピッチを自由に駆け巡ることができます。そして、「見えない」という暗闇の中で、想像力は無限に広がります。醍醐味は、ボールの音や仲間の声を信じ、視覚以外の感覚を研ぎ澄ませた選手たちのパワフルなプレー。観る人の価値観が覆されるようなプレーの数々を、ぜひお楽しみください。

## What is Blind Football? It's a football played with finely honed senses.

Blind Football is invented based on futsal, where 4 blind-folded outfielders and 1 low-vision or good sighted goalkeeper play in the pitch, using a ball with a metal inside. At the Paralympic Games, it is called "Football 5-a-side," or more generally "Blind Football" across the world. While only total blind players are allowed to play at international events such as this competition or the Paralympics, sighted players can play at domestic club matches, meaning that it is a sport where everyone can play together regardless of the disabilities. "Blind soccer" or "Bla-Saka", its phonetic abbreviation, is the moniker JBFA has given to the sports to promote it widely. In Blind Football, players decide on their move by themselves and they can move across the field freely. Their imagination is boundless in the invisible dark world. It is such a thrill to see their powerful play with fine-tuned senses other than eyesight, trusting the sound of the ball and the call of teammates. There is no doubt that many of those fantastic performances will overturn your mindset.

## ワールドグランプリ(WGP)とは

「IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ」は、ブラインドサッカーを国際的に統括する国際視覚障害者スポーツ連盟 (IBSA) 公認の国際大会で、2018年に新設。単年度ではなく3年連続 (2018年～2020年)、日本開催が関係者間で合意されスタートしました。国際大会の一国での継続実施は非常に稀です。

日本ブラインドサッカー協会は、2018年、2019年と、多くの人に知ってもらい、観戦してもらえる大会に育てながら、この類稀なる機会を活用してきました。会場では、「ブラインドサッカーをより“楽しんで”観てもらおう」「障がいのある人がより“観やすい”環境とは」をテーマに、パラリンピック競技を通じて共生社会に貢献する、障がい者スポーツの大会をより気軽に、どんな人でも楽しめる場にするチャレンジを続けてきました。残念ながら2020年の第3回大会は新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止となりましたが、今年は感染対策を講じて無観客で開催。全試合をオンライン放送し、世界中にブラインドサッカーの魅力を発信してまいります。

本大会はブラインドサッカー日本代表にとっても大きな意義があり、世界の強豪国と熱戦を繰り広げられることで、強化・育成がより促進されます。さらに、世界のブラインドサッカー途上国 (始めようとしている・始めたばかりの国や地域) のための支援の仕組みを持っているのが本大会です。大会が盛り上がりれば盛り上がるほど、世界中にブラインドサッカーが広がり、多くの視覚障がい者がプレーできる。その喜びの機会を増やしていくことも、ミッションとしています。

前回からタイトルスポンサーに参天製薬株式会社が決定し、大会名も「Santen IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2021 in 品川」(Santen ブラサカグランプリ 2021) となりました。世界最高峰レベルの闘いが繰り広げられる本大会にどうぞご期待ください。

IBSA Blind Football World Grand Prix is the world competition officially authorised by IBSA, International Blind Sports Federation, began since 2018 and will be held in 2021 as well. This year, the competition will be played between Sun. 30th May and Sat. 5th June in Tennozu Park, co-organised by Shinagawa City. The competition aims to spread Blind Football to Asia and all over the world and would be held continuously after 2021 with the possibility to be held overseas. This year 5 high ranked countries participate to play for the games.

# Outline

## Santen IBSA

ブラインドサッカーワールドグランプリ 2021 in 品川  
(Santen ブラサカグランプリ 2021)

日程：2021年5月30日(日)～6月5日(土)  
会場：品川区立天王洲公園  
主催：国際視覚障害者スポーツ連盟 (IBSA : International Blind Sports Federation)  
特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会 (JBFA : Japan Blind Football Association)  
特別共催：品川区  
共催：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会  
一般財団法人インターナショナル・ブラインドフットボール・ファウンデーション  
後援：厚生労働省／スポーツ庁／公益財団法人日本サッカー協会  
一般社団法人日本障がい者サッカー連盟／公益財団法人東京都サッカー協会  
公益社団法人東京都障害者スポーツ協会／朝日新聞社  
タイトルスポンサー：参天製薬株式会社  
カテゴリースポンサー：TANAKAホールディングス株式会社 (式典・セレモニー)  
アルファ ロメオ (プロモーション)／株式会社 丸井グループ (プロモーション)  
天王洲アイルブラサカサポートプロジェクト実行委員会 (ホームタウン)  
シルバースポンサー：株式会社インソース／アクサ生命保険株式会社  
サポーター：株式会社アセットリード／SMBC日興証券株式会社／KPMGジャパ  
味の素株式会社／全日本空輸株式会社  
双日株式会社／株式会社トーコン／RENOSY  
技術協力：パナソニック株式会社  
協力：佐倉市 (サイドフェンス)  
競技クラス：B1 (全盲)クラス  
出場国：5カ国  
大会事務局：日本ブラインドサッカー協会  
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 ベアーズビル3階

## Santen IBSA Blind Football World Grand Prix 2021 in Shinagawa (Santen Grand Prix)

SCHEDULE: Sun. 30th May, 2021 ~ Sat. 5th Jun, 2021  
VENUE: Shinagawa Tennozu Park  
ORGANISER: IBSA : International Blind Sports Federation / JBFA : Japan Blind Football Association  
SPECIAL COORGANISER: Shinagawa City  
CO-ORGANISER: Japanese Para-Sports Association Japanese Paralympic Committee / IBF Foundation  
NOMINAL SUPPORT: Ministry of Health, Labour and Welfare / Japan Sport Agency / Japan Football association / Japan Inclusive Football Federation / Tokyo Football Association / Tokyo Sports Association for Persons with Disabilities / The Asahi Shimbun  
Title Sponsor: Santen Pharmaceutical Co., Ltd.  
Category Sponsors: TANAKA HOLDINGS Co., LTD. (Ceremony) / Alfa Romeo (Promotion) / MARUI GROUP CO., LTD. (Promotion) / Tennoz Isle Blind Soccer Support Project (Home Town)  
Silver Sponsors: Insource Co.,Ltd. / AXA Life Insurance Co.,Ltd.  
Supporters: ASSETLEAD Inc. / SMBC Nikko Securities Inc. / KPMG Japan / Ajinomoto Co., Inc. / ALL NIPPON AIRWAYS CO.,LTD. / Sojitz Corporation / TOKON Co.,Ltd. / RENOSY  
Technical Cooperation: Panasonic Corporation  
Cooperation: Sakura City(Side Fences)  
VISUAL CLASSIFICATION: B1  
NUMBER OF TEAMS: Five Countries  
ADMINISTRATOR: Japan Blind Football Association (〒169-0073 Pairs Build 3rd Floor, 2-21-27, Hyakunin-Cho, Shinjuku, Tokyo, JAPAN)

# Message 01

品川区

Shinagawa City



1

## ブラサカとともに共生社会の実現を目指す街

都市の新しさと古き良き下町風情が同居する魅力あふれる品川区は、5年前から日本ブラインドサッカー協会と共同で障がい者スポーツの発展、共生社会の実現に向けた様々な活動を展開してきました。品川区長様からのメッセージとともに、これまでの歩みをご紹介します。

### 品川区とブラインドサッカー

「Santen IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2021 in 品川」の開催、誠にありがとうございます。本大会は、第1回から品川区立天王洲公園にて開催されてきました。昨年3月に予定されていた第3回大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となりましたが、第4回となる今回も引き続き品川区が特別共催として大会に携わることができ、大変光栄で喜ばしいことでもあります。大会開催につきまして、日本ブラインドサッカー協会をはじめとした関係者の皆様の調整、ご努力に敬意を表します。

品川区とブラインドサッカーの関わりは2013年、東京2020大会の招致決定直後からです。16年4月には、障がい者スポーツの振興、障がい者理解の促進を図るため日本ブラインドサッカー協会と品川区は「パートナーシップ協定」を締結。7年以上、多くの事業とともに実施して

きました。今年4月には協定を再締結。共生社会の実現を目指してまいります。

ブラインドサッカーは、パラリンピック競技の中でも大変魅力的な競技の一つです。視覚を閉ざした状態での選手のスピード感あふれたプレー、晴眼者であるガイドやゴールキーパーとの連携といった見どころにあふれ、障がいの有無に関わらない「混ざり合う社会」を体現し、人々に興奮と感動を与えてくれます。

過去2大会では品川区内の子どもたちがボールボーイやエスコートキッズを務めたり、ハーフタイムでダンスを披露したりと、様々な形で協力をさせていただきました。また、地元天王洲の企業が中心となって「天王洲アイブラサカサポートプロジェクト実行委員会」を結成し、今では様々な企業・団体が大会をサポート。品川区では行政だけでなく、区民・企業等の多くのステークホルダーがブラインドサッカーを応援しています。

### 東京2020大会に向けて

今年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。コロナ禍での実施には課題が多いことは否めませんが、安全安心を担保したうえで、大会をともに盛り上げられたら嬉しく思います。そして強豪国が集う本大会は、東京2020大会へ向けたチーム強化の絶好の機会です。パラリンピックを見据えた本大会の成功と日本選手の活躍をお祈り申し上げます。



2

## The City Embraces an Inclusive Society with Blind Football

For the past 5 years, Shinagawa City, an attractive town where good old tradition and urban modernity coexist, has been engaged in various programs to promote para sports and an inclusive society in partnership with the JBFA. Let us walk you through what we have achieved so far, following a message from the Mayor.

### Shinagawa City and Blind Football

Congratulation on the opening of Santen IBSA Blind Football World Grand Prix 2021 in Shinagawa. This competition has been held in Shinagawa City Tennozu Park since its inauguration except last year, when it was forced to be cancelled due to the fallout of Covid-19 pandemic. It is a great pleasure for Shinagawa City to be able to get involved in the 4th edition again as special co-sponsor. I'd like to express my profound respect to all stakeholders as well as JBFA for their efforts and management.

Our involvement with Blind Football dates back to 2013, right after when Tokyo was chosen to host the Olympic and Paralympic Games for 2020. In April 2016, Shinagawa City signed a partnership agreement with JBFA with the aim of developing sports for people with impairment and promote awareness toward them. Through our various activities in the past 7 years, we've been seeking together the implementation of an inclusive society. And in April, 2021, Our partnership agreement has been re-signed.

Blind football is one of the most attractive sports among the Paralympic sports. It features many dazzling moments including players' lightning-fast movements with

their sight closed, and their excellent combination with a sighted guide and a goalkeeper, all of which embody a society where people can integrate regardless of disabilities, and that excite and inspire us all. Our young residents have participated in the previous editions as ball boys or escort kids, as well as demonstrating dance performances during the half time. Local businesses have led the set-up of the "Executive Committee of Tennozu Isle Blind Football Supporting Project", which now has more and more entities joining to support the competition. Not only the local administration, but many local stakeholders from citizens to enterprises back up the Blind Football collectively.

### Toward Tokyo 2020

The 2020 Olympic and Paralympic Games will finally take place in Tokyo. Although it is undeniable that there are so many challenges to host the Games under the pandemic, it will be great to be able to embrace the Games together, ensuring the safety and security for all. Having the world's top teams gathered, this competition will be a great opportunity for those teams to get prepared for the biggest stage. I conclude my greeting by wishing the best for a successful event ahead of the Paralympics, and hope for a great performance by the Japanese national team.



5



3

1：天王洲公園で開催された2019年のワールドグランプリ。2：天王洲運河沿いのウッドデッキは散策に最適。3：大崎駅からすぐの御成橋公園は区民の憩いの場。春には桜が満開に。4：小・中学生を対象としたブラサカ協会独自のプログラム「スポ育」。これまで区内のたくさんの児童生徒が体験。5：右は品川区のブラサカ応援キャラ「やたたま」。中・左は東京2020オリンピックで区内開催となるビーチバレー「ビーチチュウ」、ホッケー「シナカモン」。



4

1：2019 edition of World Grand Prix at Tennozu Park  
2：Wooden boardwalk along the Tennozu Canal is nice to stroll.  
3：Onaribashi Park, an oasis for residents close to Osaki Station, is surrounded with full bloomed cherry blossom.  
4：“Spo-Iku,” an original educational program for the kids under 16 years old, initiated by JBFA. Many schools in Shinagawa City participated.  
5：Yata-Tama, right, is Shinagawa official supporting mascot for Blind Football. Along with other mascots of the Tokyo 2020 sports to take place in the city, Bea-chu for Beach Volleyball (center) and Shina-Com'on for Hockey (left).

## 品川区とJBFAの歩み

### 2014

9/15 ブラインドサッカーフェスタ開催 (関東リーグ第2節、体験コーナー他) 会場：しながわ中央公園/来場者数：約1,500名

11/11他 区立小学校にて「スポ育」実施 平成26年度実施：3校(八潮学園、城南第二小、御殿山小)

### 2015

4/1～ 出前体験教室開始 平成27年度実施：10回/会場：区内スポーツ施設等/フットサルチーム、少年野球の指導者、少年サッカーチームの保護者等、総勢約650名が体験。28年度以降も毎年実施。

9/4～6 アジア選手権における日本チームへの応援 4日：区職員有志45名、5日：区民観戦ツアー48名、6日：区職員有志30名/会場：国立代々木競技場フットサルコート

### 2016

2/6 ブラサカ体験会・講演会 開催 テーマ「ブラインドサッカーの魅力と可能性」北澤豪氏、ブラサカ日本代表選手等4名によるトークセッション。会場：スクエア荏原/来場者数：体験会50名、講演会276名

2/19他 区立小学校にて「スポ育」実施 平成27年度実施：2校(豊葉の杜学園、城南小)

4/27 パートナリシップ協定を締結

8/～ 日本代表チーム練習場として区立荏原第六中学校の校庭利用を開始

11/6 ブラインドサッカー東日本リーグ2016 開催 会場：しながわ中央公園/来場者数：約550名

### 2017

3/21 ブラジル視覚障害者スポーツ連盟会長と区長との懇談

3/24 ブラサカブラジル代表チームとの交流 会場：品川歴史館(音楽と踊りやお茶会によるおもてなし)、天王洲公園(日本代表チームとの合同練習)

4/～ 区立小学校にて「スポ育」実施 平成28年度実施：44校

11/12 ブラインドサッカー東日本リーグ2017 開催 会場：しながわ中央公園/来場者数：約700名

### 2018

3/21～25 IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2018 会場：天王洲公園

10/27 ブラインドサッカー東日本リーグ2018 開催 会場：しながわ中央公園/来場者数：約1,500名

### 2019

3/19～24 IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2019 会場：天王洲公園

11/10 ブラインドサッカー東日本リーグ2019開催 会場：しながわ中央公園/来場者数：約1,500名

### 2020

11/14 アクサ×KPMG ブラインドサッカー2020カップ 会場：天王洲公園 (YouTube Live) 視聴回数：2,343回/配信期間：14日22:00

### 2021

4/3 アクサ×KPMG ブラインドサッカーSpringカップ 会場：天王洲公園 (YouTube Live) 視聴回数：1282回/配信期間：3日～5日18:00

4/23 パートナリシップ協定を再締結

# Message 02



## 北澤 豪

一般社団法人日本障がい者サッカー連盟 会長  
公益財団法人日本サッカー協会 理事  
一般社団法人日本女子サッカーリーグ 理事

## Tsuyoshi Kitazawa

President of Japan Inclusive Football Federation  
Executive Committee Member of Japan Football Association  
Director of Japan Women's Football League

## 困難を乗り越えるブラサカを信じて

元サッカー日本代表の名プレイヤーであり、現在は日本障がい者サッカー連盟会長を務める北澤豪さん。今大会に込める期待をお話いただきました。

### 活動できない苦しみに 直面した一年

一般社団法人日本障がい者サッカー連盟は、7つの障がい者サッカー競技団体を束ね、サッカーを通じてインクルーシブ社会を創造することを目指し、2016年に設立いたしました。日本サッカー協会とも連携をし、日本の各地で障がい者サッカーが当たり前活動されていることも、パラリンピックムーブメントの中で大きく推進してまいりました。

しかし、2020年3月に予定されていたWGP2020が中止となり、この一年あまり、多くの障がい者サッカーは活動停止を余儀なくされました。背景には、障がいによっては基礎疾患があり、感染症に対して十二分な配慮が必要であること、そのための対策を講じながら活動を推進できるほど、組織基盤や体制が強固ではないことがあります。国内の大会や練習会だけではなく、2020年に予定されていた国際大会も、全てが中止や延期といった判断が下され、障がい者サッカーにとっても非常に苦しい一年間となりました。

### サッカーを通じた 共生社会の創造とともに

このような環境下で、これまでサッカー界とともに推し進めてきた活動が一時的に足踏みせざるをえない一方、今回、ブラインドサッカーの国際大会を日本で開催しようとする動きは評価に値するものです。障がいがあっても、感染症があっても、安全にサッカーが続けられる環境があるのだと社会に示してくれるものであり、ブラインドサッカー以外の障がい者サッカーにとっても、希望の火を灯してくれるはずだと期待しています。

障がい者サッカーは、障がい者にピッチでプレーする機会を提供することだけがミッションではありません。サッカーを通じて、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツの価値を享受し、一人ひとりの個性が尊重される活力ある共生社会を創造していくことにつながります。社会が困難にさらされる中、障がい者が取り残されてしまうという課題も浮き彫りになりつつある現在、本大会が、障がい者の皆さまに加え、多くのサッカーを愛する皆さまとともに、改めて共生社会を考え、推進する契機となるものと信じ、私たちも一翼を担いたいと思います。



## Believing In the Power of Blind Football to Overcome Challenges

Tsuyoshi Kitazawa, a legendary player of Team Japan and a sitting president of JIFF, talked to us about his expectation for this competition.

### The year where we have suffered from being deprived of activities

JIFF was founded in 2016 by integrating 7 different inclusive football organizations with the aim of building an inclusive society through football. In partnership with the JFA, it is also our commitment to the Paralympic Movement so that disabled people can commonly play football all over Japan. However, the previous edition of the competition, initially set to be held in March 2020, was cancelled, leaving many events of disability football suspended over the past year. There are factors behind it that the extra caution is needed to the infectious disease because some disabilities are accompanied with underlying conditions, and that the organization infrastructure is not strong enough to promote activities while taking preventive steps at the same time. All the events were cancelled or postponed, not only the national events and training sessions but also the international competitions set in 2020, which turned out to be a tough year for the disability football community.

### To Co-create an inclusive society through football

While those circumstances forced us to halt temporarily our activities promoted in collaboration with a whole football community, the efforts to host a blind football tournament in Japan should be credited. It shows the world that we're prepared to continue to play football safely, even under the circumstances with disabilities and infectious diseases, and becomes a beacon of hope to all other impaired football players. It is not the only mission of disability football to provide opportunities for impaired people to play on the pitch. Football enables everyone to benefit the values of sports regardless disabilities, leading to the creation of a dynamic and inclusive society where every single one of us are respected. While the society is facing difficulties, the pandemic highlights the challenge to leave impaired people behind, but I do believe that this competition will help us to understand and promote the significance of an inclusive society together with many football fans and impaired people. It is our great honor to be a part of that initiative.

## Instagram & Twitter & LINEで情報配信中!!

▼こちらのQRコードにて簡単にアクセス可能です。▼



Instagram  
shinagawa\_2020



Twitter  
@shinagawa\_2020



LINE  
しながわ2020

公式LINEスタンプも  
販売チュウ!



## 東京2020オリンピック・パラリンピック 品川区は3つの競技を応援しています!!

### ビーチバレーボール Beach Volleyball



砂の上にネットを張って行う2人制のバレーボール。都度変化する自然環境の中、2人で守備し、攻撃を仕掛け、最高のチームワークで勝利を目指す。



品川区ビーチバレーボール応援キャラクター  
ビーチチュウ

開催予定場所  
潮風公園  
(品川区東八潮1)  
・東京臨海高速鉄道りんかい線  
東京テレポート駅から下車徒歩  
・東京臨海新交通臨海線  
ゆりかもめ台場駅から下車徒歩

### ホッケー Hockey



フィールドプレイヤー10人、ゴールキーパー1人の1チーム11人制。長さ1m弱のスティックを使い、ドリブル、パスで相手陣地内へ攻め込み、シュートを打ち、ゴール得点を競う。



品川区ホッケー応援キャラクター  
シナカモン

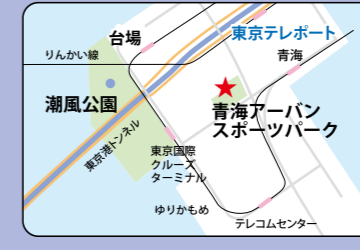
開催予定場所  
大井ホッケー競技場  
(品川区八潮4-1-19)  
・東京モノレール  
大井競馬場前駅から下車徒歩  
・京浜急行  
立会川駅から下車徒歩

### ブラインドサッカー (5人制サッカー) Blind Football

品川区は特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会とパートナーシップ協定を締結しています。



ゴールキーパー1人、フィールドプレイヤー4人の1チーム5人制。フィールドプレイヤーはアイマスクを着用し、見えない状態でボールの音、相手や仲間の声を頼りにゴールを狙う。



品川区ブラインドサッカー応援キャラクター  
やたたま

開催予定場所  
青海アーバン  
スポーツパーク  
(江東区青海1-1)  
・東京臨海高速鉄道りんかい線  
東京テレポート駅から下車徒歩

## 品川区文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課

TEL.03-5742-9109 FAX. 03-5742-6585



<https://shinagawa2020.jp>

品川区 特設サイト

検索



# Message 03

参天製薬株式会社

Santen Pharmaceutical Co., Ltd.



香川県小豆島で開催した「ブラサカキッズキャンプ2019 in 西日本」。視覚障がい児27人、保護者29人、社員28人ほか総勢116人が参加。

Blind Football Kids Camp 2019 in West Japan, in Shodo Island, Kagawa Prefecture, with total 116 participants including 27 visually impaired children, 29 parents, 28 employees, and more.

## 視覚に障がいのある人もない人も混ざり合い、輝ける社会の実現に向けて

昨年、本大会のタイトルスポンサーに決定した参天製薬(以下、Santen)は、眼科に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、世界約60カ国を超える国・地域で医薬品や医療機器などの製造販売を行っています。これまで、日本ブラインドサッカー協会(以下JBFA)のパートナーとして続けてきた活動の様子や意義、今後の展望などについてご紹介します。

### 2017年から支援スタート 特に視覚障がい児向け活動に注力

Santenは、世界の人々の目の健康を支えることを使命としています。製品やサービスを通じて社会に貢献するとともに、2012年から盲導犬育成や日本ライトハウスへの支援などを続けています。2017年3月には、JBFAのビジョンやミッションに共感し、パートナーシップ契約を締結。ブラインドサッカー男子日本代表、小中学校向け体験授業「スポ育」などの支援を始めました。

中でも特に力を入れてきたのが、視覚障がい児向けの取り組みです。彼らの運動能力は健眼児童の6割程度と言われており、その原因の一つに、安心して運動できる環境の整備が不十分であることが挙げられています。また、同じ境遇の子どもたちと出会う機会が少ないことや、

障がいについての周囲の理解不足もあり、チームスポーツはさらに難しい環境にあります。そこで同社は、視覚障がい児がスポーツに触れ、取り組むきっかけとなることを目指す「キッズキャンプ」の支援を開始。2018年には次世代のブラサカ選手早期育成・強化に向けた「ジュニアトレーニングキャンプ」の支援も始め、社員も積極的に参加しています。同年から女子日本代表のサポートも行っています。

### 直接触れ合うことで 社員の意識も変化

各種キャンプで同社社員は、運動の補助だけでなく寝食もともにし、視覚障がい児や家族と深く関わります。参加後は、「自分の仕事の社会的意義を実感した」「眼科疾患を抱える方やご家族に貢献したいと強く思った」と社員は話し、社

内に「患者さん視点」の考え方が醸成されたといえます。視覚障がい児と社員の交流は、医療関係者からも賛同の声が寄せられているようです。こうした日本での活動を基盤として、2019年、SantenはIBSA(国際視覚障害者スポーツ連盟)主催の「ブラインドサッカーアジア選手権」のメインスポンサーに就任。アジア各国の同社社員がタイに集まり、大会をサポートしました。そして、本大会へのサポートへ。世界中の医療関係者とのネットワークを持つSantenとのタッグは、JBFAにとっても大変意義深く、期待を寄せています。決して一時的な活動で終わらせることなく、両者は今後も、障がいの有無に関わらず全ての人が混ざり合い、生きがいを持って生活できる社会の実現を目指して協働していきます。



## To Build a Society for Everyone to Join and Shine Regardless of Impairments

Santen Pharmaceutical Co., Ltd. (Santen), a title sponsor of this World Grand Prix, is a specialty company dedicated to the ophthalmic field, manufacturing and marketing the pharmaceuticals and medical devices in more than 60 countries and regions worldwide. Let's take a closer look on the partnership with Japan Blind Football Association (JBFA), from its activities to significance and prospect.

### Supporting Since 2017 Around the Activities for Visually Impaired Children

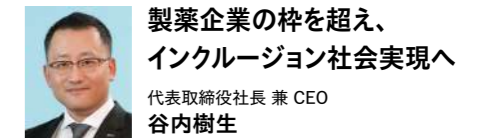
Santen has a mission to support the ophthalmic well-being of the global population. Along with the social contribution through their products and services, the company have supported the training of guide dogs and the activities of Nippon Lighthouse, a welfare center for the blind, among others since 2012. With a lot in common with its vision and mission\*, they signed the partnership agreement with JBFA on March 2017, and started to support the Japanese national team and many programs including "Supo-Iku," the active-learning program for primary and secondary schools. Among all, the main focus is the programs for visually impaired children. It is said their physical ability is 60 percent less than that of good sighted children, partly because the safe athletic environment designed for them is insufficient. In addition, few opportunities of communication among children with the similar health condition and the lack of understanding towards the impairment make it more difficult for them to enjoy a team sport.

In this context, Santen began its support for "Kids Camp", a program to provide the opportunities for visually impaired children to get access to and engaged with the sport. Since 2018, the company has also assisted the junior training camp with the employees involved, for the early development and education of blind football players of next generations, along with the support for women's national team.

### Direct Interaction Changed Awareness Among Employees

At those camps, Santen's employees have

a chance to communicate closely with visually and their family, not only through the assistance at the exercise but also through sharing board and room. Their post-camp feedbacks indicate that it helped foster the "patients-first" perspective within the company, citing that they get aware of the social significance of their work and motivated to provide a help for those with ophthalmic diseases and their families. The interaction between the visually impaired children and the employees seems well received among health care providers. Following those activities in Japan, Santen sponsored the IBSA Blind Football Asian Championship in 2019. Their employees in Asian branch offices gathered in Thailand to assist the organization of the event. All these leads to the sponsorship of this event. The partnership with the company with a global network of medical professionals is also significant to JBFA, highly expected for much benefit. It will not end as one-shot attempt, but will continue to ensure that everybody can live a meaningful life in more inclusive society, with both impaired and able-bodied hand in hand.



製薬企業の枠を超え、  
インクルージョン社会実現へ  
代表取締役社長 兼 CEO  
谷内樹生

昨年に続き、弊社が本大会のタイトルスポンサーとなることができ、大変嬉しく思っております。弊社は1890年に創業した、目の領域に特化したスペシャリティ・カンパニーで、世界でも歴史のあるヘルスケア企業の一つです。目の領域に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、製薬企業としての枠を超え、視覚障がい者も交じり合い、いきいきと共生する世の中の実現に向けて、視覚障がいへの理解や「見える」ことの大切さを学べる活動を推進しています。その一環として、昨年3月にはIBF FoundationとJBFAと長期パートナーシップを締結(次頁参照)しています。

本大会後、バラスポーツへの関心が高まり、障がい者と健常者が混ざり合う好機になることを祈っています。本大会の開催と選手の方々の活躍、手に汗握る試合を心から楽しみにしております。

### Toward an inclusive society beyond the pharmaceutical industry

President and Chief Executive Officer,  
Shigeo Taniuchi

I am very delighted that our company serves again as the title sponsor of this competition following the previous year. Santen is a specialized company dedicated to ophthalmology, founded in 1890. It is also one of the oldest healthcare companies in the world. As a specialized company dedicated to ophthalmology, extending beyond the bounds of the pharmaceutical industry, Santen promotes activities to raise public awareness of visual impairments and help people learn about the importance of being "able to see" to aim of building society that is inclusive to all regardless of visual impairment. After this competition, I do hope that it will boost the interest to Para Sports and trigger the interaction between the impaired and the able-bodied. I am very much looking forward to the opening of this competition, along with the great performances of players and the nail-biting matches.

### 日本代表チームのPCR検査をサポート

2020年3月より新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け、活動休止を余儀なくされていたブラサカ日本代表チーム。代表活動をより安全に行う方策が求められていた中、Santenは同年7月から、日本代表選手(男子25名・女子15名)、スタッフ(5名)を対象としたPCR検査費用を支援。安定的なPCR検査の実施によって代表活動の継続、選手たちのパフォーマンス向上に貢献しています。

### Supporting the PCR testing for Team Japan

Since March 2020, all activities of Blind Football Team Japan have been forcibly suspended following the fallout of Covid-19 pandemic. While searching for the safety measures to restart the sport, Santen backed them up from July of the same year, covering the expense of the PCR testing for the national team players (25 men, 15 women) and 5 staff. The consistent PCR testing contributes to the seamless team activities and the improvement of their performance.

## 2017

### 3月パートナーシップ 締結

男子日本代表、スポ育のサポートなどを開始。

March: Conclusion of Partnership Agreement Start to support for Japan's men's national team, Supo-Iku, etc.

### 7月ブラサカキッズキャンプ in 関西(兵庫)

「仲間と、スポーツと、新しい自分との出会いと再会」をテーマに、視覚障がい児27人、保護者30人、社員26人ほか総勢100人超が参加。

July: Blind Football Kids Camp in West Japan(at Hyogo) Under the slogan "Encounter and Reunion with Teammates, Sport and Brand-new Self-," more than 100 people participated, including 27 visually impaired children, 30 parents, 26 employees, and more.

## 2018

### スポ育・オフタイム (支援継続中)

JBFA独自の小中学生向けダイバーシティプログラム「スポ育」、社会人向けブラサカ体験会「オフタイム」。講師となる社員を現場に派遣することも。

Supo-Iku & Off-Time (ongoing) JBFA original diversity program for primary and secondary schools "Supo-Iku" and the experience event for working ages "Off-Time." Santen employees may often serve as "lecturers."

### 12月ジュニアトレーニング キャンプ(兵庫)

本格的に練習したい視覚障がい児は、地元クラブチームで大人に混ざって練習するほかに、公式戦への出場資格は中学生以上。このキャンプなら同じ境遇の仲間と思いきりプレーできる。

December: Junior Training Camp (at Hyogo) A visually impaired children have no choice to practice at a local football club with the grown-ups when they need to get involved in the sport fully, and only the junior-highs are qualified to the official game. But they can play the game with players of the same age and same condition at this camp.

## 2019

### 1月ジュニア トレーニング キャンプ(東京)

January: Junior Training Camp (at Tokyo)

### 3月ジュニアトレーニング キャンプ(大阪)

18年12月からの3回で延べ40人の社員がサポーターとして参加。子どもたちは同世代のサッカーチームとの試合も経験。

March: Junior Training Camp(at Osaka) A total of 40 Santen employees has participated in three sessions since December, 2018. Children played a game against a team of the same age.

### 8月ブラサカキッズキャンプ in 西日本(香川・小豆島)

1泊2日、子どもの自立を目的に親子は離れて過ごす。子どもたちがブラサカや水遊び、宿泊を笑顔で体験できるよう、JBFAスタッフと社員がサポート。

August: Blind Football Kids Camp in West Japan (Shodo Island, Kagawa Prefecture) For the purpose of self-independence, children spent this 2-day camp separate from the parents. JBFA staff and Santen employees supported so that children could have a fun enjoying blind football, water-playing, and sleep over experience.

### 9月アジア選手権 (タイ・パタヤ) / 写真上

8カ国が参加。1位中国、2位イラン、3位日本。アジア各国の従業員が会場設営など様々なボランティアを実施した。

September: Asia Championship (at Pattaya, Thailand)/Photo:Top 8 national teams competed. China won the gold, as Iran for silver and Japan for bronze. Employees in Santen's Asian offices helped the event as volunteers, such as setting up of the venue.

## 2020

### 7月~ 日本代表チーム PCR検査支援 10月 Santen・JBFA・IBF 三者パートナーシップ契約締結

July-Supporting the PCR testing for Team Japan  
October: Signing three-parties partnership agreement with JBFA and IBF

## ブラインドサッカーのフィールドから「混ざり合う社会」の実現へ

2020年10月、参天製薬(以下、Santen)、日本ブラインドサッカー協会(以下、JBFA)、国際ブラインドサッカー・ファウンデーション(以下、IBF Foundation)は、三者間で10年間の長期パートナーシップ契約を結びました。パラスポーツ界では異例とも言える10年契約。三者が目指すゴールとは――。

### To achieve an “inclusive society” from the field of Blind Football

On October 2020, Santen Pharmaceutical Co., Ltd. (Santen), Japan Blind Football Association (JBFA) and International Blind Football Foundation (IBF Foundation) signed a 10-year long partnership agreement between three parties. It is unusual in Para Sports community to have such a long-term agreement. What goal are those three parties aiming for?

## GOAL 1

### 共体験でそれぞれの個性や強みを理解する

視覚障がい者と明眼者が、同じフィールドや場で、身体性を伴う体験を共にすることで、言葉だけでは理解できないお互いの強みに気づく、そんな体験をする人を劇的に増やします。たとえば、本大会のような国際的な舞台を盛り上げることもこの取り組みの一つです。

取り組み例：WGP2021タイトルスポンサー活動、スポイイクなど

### To Transform the Society

Sharing experiences to understand the personalities and strengths To boost dramatically the number of participants sharing the physical experiences on the same field and occasion, whether the sighted or the visually impaired, so that one can notice of the other's strengths which would have not be appreciated verbally. To promote an international platform like this competition is one of those initiatives.

Example: Title sponsor of WGP2021, Spo-iku etc.

## GOAL 2

### 見えるに関するイノベーションを創出する

視覚障がい者の視点を活かし、視覚障がいにおける社会課題を解決していく新しいサービスを生み出す仕組みをつくります。仕組みの中でのサービスづくりの経験や、そこで生まれたサービスにより視覚障がい者の強みを活かせる新たな職業が創出されます。

取り組み例：アクセラレーションプログラムの企画・構想 など

### To Transform the Society

To create the innovation around the sight To build a framework to create new services to solve various social issues around the visual impairment by making the most of the impaired people's viewpoints. The experience in such a framework and the services created through it will produce new occupations to empower the visually impaired.

Example: Drawing a plan and concept of acceleration programs etc.

### グローバル規模で「目」に関する様々な課題を解決したい

思いを同じくするSanten、JBFA、IBF Foundationの三者は、今までそれぞれで様々な取り組みを展開、2019年には「IBSAブラインドサッカーアジア選手権2019」を協働で支援するなどしてきましたが、このほど2030年に向かってともに歩み始めました。

昨年創業130周年を迎えた、眼科に特化した

### To solve different issues surrounding “eyesight” on the global scale

Santen, JBFA and IBF Foundation, the parties united with common visions, have made various efforts individually including their supports for 2019 IBSA Blind Football Asian Championships until now, when they finally move forward in sync toward 2030. As a prestigious ophthalmology company marking 130th anniversary last year, Santen provides their brand and organization capacities including R&D and networking, while JBFA contributes their “platform” of Blind Football sharing the physical

スペシャリティ・カンパニーであるSantenが保有するブランド、研究開発・ネットワークなどの組織力、JBFAが提供する身体性を伴う経験をともにできるブラサカという“場”と非営利組織としての中立性、IBF Foundationがグローバル規模でのブラインドサッカーソサイエティへのアクセス。

こうした、企業、NPO、財団による新たなイニシアチブは、目指す社会の早期実現を力強く推進することでしょう。

experiences as well as their neutrality as a NPO, with IBF Foundation's access to global stage of Blind Football. Such a novel initiative among the business, NPO, and the foundation will propel an early establishment of the society we're seeking for.

### Tearing down the barrier between “sighted” and “non-sighted” to ensure the society where everyone can shine

There are a number of issues shared among the sighted and visually impaired, deriving from the lack of the deep understanding each other. Santen, JBFA

### “見える”と“見えない”の壁を溶かし、社会を誰もが活躍できる舞台にする

明眼者と視覚障がい者では、お互いがお互いを深く理解できていないことで生じる様々な課題があります。Santen、JBFA、IBF Foundationは、視覚に障がいのある方の多様な社会参画への架け橋となることを目指し、図のような共通ビジョンを描きました。その名は「VISI-ONE」。

and IBF Foundation have set a common vision as the following illustration, in order to facilitate the various pathways of social inclusion for the visually impaired.

Here are three goals set to achieve that vision. Starting from the field of Blind Football, a wide range of occasions will be offered so that both the sighted and the visually impaired understand each other's strengths. It will result in the achievement of a sustainable inclusive society where each one of us respects those strengths to perform our bests together.

そして、3つのゴールを設定。ブラサカというフィールドを出発点に、視覚障がい者も明眼者もお互いの強みを理解し合えるよう、数々のプラットフォームを提供していきます。それにより、視覚障がいの有無にかかわらず、お互いの強みを尊重し合い、ともに活躍できる持続的なインクルージョン社会の実現を目指します。

\* Visionは目指すべきビジョンでもあり、視る「ビジョン」を意味し、見える、見えないを超えてひとつ (One) になる願いをこめています。

\* VISI-ONE : The word “Vision” has two meanings: one is a vision of what we should be aiming for. The other meaning is “vision”, which means to see, and it is a wish to become one, beyond who can see and those who can't.



## GOAL 3

### 視覚障がい者のQOLを向上する

視覚障がい者に対する無意識バイアスがなくなり、見える、見えないに関係なく、視覚障がい者が社会参画できる社会を目指します。

取り組み例：社会で活躍する視覚障がい者とのダイアログ、視覚障がいを取り巻く環境についてのリサーチ、おたすけ電話相談窓口 など

### To Transform the Society

To improve the Quality of Life of the visually impaired To aim for the society where there is no unconscious bias toward the visually impaired and both the sighted and non-sighted can participate the social activities. Examples: Dialogues with visually impaired people actively involved in social activities, the research on the surroundings of the visually impaired, and the counselling hotline etc.

### IBF Foundationについて

一般財団法人国際ブラインドサッカー・ファウンデーション (IBF Foundation) は、「ブラインドサッカーで障がいはなくせる」をビジョンに掲げ、ブラサカが国際的に広くプレーされるスポーツとなること、および各国の競技団体の組織力向上に貢献することを通じて、世界の視覚障がい者のQOLを向上させることを目的に2019年設立されました。  
<https://www.ibf-foundation.football/>

### About IBF Foundation

Setting “Overcome disabilities with blind football” as its vision, the IBF Foundation was established in 2019 with the aim of improving the Quality of Life of visually impaired people around the world by developing blind football to an internationally popular sport and contributing the capacity building of national blind football associations.  
<https://www.ibf-foundation.football/>





2020年秋、感染症対策を講じて国内大会を実施。現場で運用できる対策ルールを策定した。ピッチでも、コントロールテーブルやフェンスを試合前後・ハーフタイムに消毒。国内大会の経験を本大会でも活用していく。

In the fall of 2020, we held the domestic Games with countermeasures against COVID-19. On the pitch, control tables and fences were disinfected before and after games and at halftime. The experience gained from the domestic tournament will be used in this games as well.

## わたしたちの感染症対策の取り組み

社会はまだ、新型コロナウイルスの影響を大きく受けています。本大会を開催するにあたっては、わたしたちがいかに感染症対策を適切に行い、感染症を拡げないかが大切でした。どのような方針で取り行ってきたのか、紹介いたします。

### Our Approach to Countermeasure for COVID-19

It is still greatly affected by COVID-19. It was important to find out how we could properly take measures to prevent the spread of infectious diseases. The following is an introduction to the policies that we have adopted.

## 感染症対策の基本方針

Basic policy on infectious disease control

### 1 持ち込まない対策

海外から参加する選手たちは、日本へ出国する15日前より検査が義務付けられるなど、渡航前から対策が始まります。

- ・ 渡航15日前からのPCR等による検査実施
- ・ 全ての検査で陰性ではないと渡航できないルール
- ・ 日々の健康管理の提出
- ・ 感染症対策責任者の設置 等

### Measures to prevent the spread of infectious diseases

For athletes participating from overseas, measures begin even before they leave Japan, such as mandatory inspections starting 15 days before their departure.

- ・ Testing using PCR, etc. 15 days prior to travel
- ・ The rule that no one can travel unless all tests are negative.
- ・ Submission of daily health management
- ・ Assignment of a person in charge of infectious disease control, etc.

### 2 閉じ込める対策

万が一、感染者が発生しても閉じ込めることができる対策です。閉じ込めるには、日々の接触者管理、大会のゾーニングなどに厳しい管理が必要です。

- ・ 入国後、フェーズごとに、接触できる人の定義と管理
- ・ ホテル、移動における隔離
- ・ 会場ではゾーニングを2段階で設定し、接触人数も制限
- ・ 接触者確認アプリの全参加者への導入 等

### Confinement measures

This is a measure to confine infected people even if they do occur. In order to confine the infected person, strict control is required in daily contact management, zoning of the event, etc.

- ・ Define and control who can be contacted in each phase after entering the country.
- ・ Isolation in hotels and transportation
- ・ Two levels of zoning at the venue, limiting the number of contacts.
- ・ Introduction of a contact app to all participants, etc.

### 3 拡げない対策

今回、当初より無観客試合を決定。これまでできる限り多くのお客様に、生で観戦していただくことに努めてきたわたしたちですが、無観客によって、人の移動と、不特定多数の方々の接触を抑えることができます。

- ・ 無観客試合による、不特定多数の方々の接触の低減
- ・ 会場の来場者人数の大幅な減員
- ・ 「閉じ込める対策」と合わせ、接触できる人たちの定義と管理
- ・ スタッフを含めた高頻度でのPCR検査等による早期発見体制 等

### Measures to prevent the spread of the disease

This time, we decided to have no spectator games from the beginning. We have been trying to get as many people as possible to watch the games live, but by having no spectators, we will be able to reduce the move of people and the contact with an unspecified number of people.

- ・ Significantly reduce the number of visitors to the venue.
- ・ Define and control the number of people who can be contacted.
- ・ Early detection system by high frequency PCR testing including staff, etc.

会員募集中

## “混ざり合う社会”をともにつくりよう ブラサカみらいパートナー

私たち日本ブラインドサッカー協会は、以下のビジョンとミッションを掲げ、様々な活動を展開しています。こうした活動を継続的な寄付で応援していただけるパートナーを募集しています。

月1,000円から  
個人の寄付で  
応援を続けよう

## Our Vision

ブラインドサッカーを通じて、視覚障がい者と健常者が、**当たり前**に混ざり合う社会を実現すること。

## Our Mission

ブラインドサッカーに携わるものが、障がいの有無にかかわらず、**生きがいを持って**  
**生きることに寄与すること。**

### みらいパートナーのサポートでできること

思い込みをひっくりかえし、日常の行動を変えていくことができるのは、**皆さん“個人”のパワー**。  
私たちは、**ブラサカに心を動かされた一人ひとり**が、日常の社会で、コミュニティで、周りの人々を巻き込んでいくことで、“混ざり合う社会”を実現できると信じています。  
みらいパートナーの皆さんから頂戴したご寄付はこのような活動に充てさせていただいております。

## 1 未来を育てる

### ブラサカキッズアカデミー ボール提供

視覚に障がいを持つ児童に、スポーツの楽しさ、友達とともに過ごす楽しさ、新しい自分を発見する楽しさを知り、こころからだが成長するきっかけを創出するプログラム。

### スポ育 講師派遣

小中学生向けダイバーシティ教育プログラム。視覚を遮断した状態で動く体験を通して“気づき”“変化”を促し、多様であることへの適応をサポート。

## 2 変化を促す

### OFF TIME / OFF TIME Biz 講師派遣

ブラサカの特性を生かした大人向け体験型ワークショップ。見えない状態でのコミュニケーションやチーム作りを通し、多様性への理解を後押し。

### ブラサカセミナー 講師派遣

ブラサカの競技やスポーツボランティア、ダイバーシティなどの話題から「混ざり合う社会」への理解を深めるセミナー。

## 3 偏見をなくす

### ロービジョンフットサルの活動 活動支援 啓発

弱視者が残存視力でプレーするロービジョンフットサルは、一人ひとりの見え方が異なる中、コミュニケーションやチームワークを最大限に生かす競技。視覚障がいの中で全盲の人は約10%、実は約90%の人が弱視であり、誰にとっても身近な存在であることから競技の普及を通して弱視啓発も推進。

### ブラサカの大会 大会開催

選手たちが練習の成果を発揮できる各種大会。「見えない」とは思えないプレーは観る人の障がいに対する意識を変えるきっかけに。

寄付で応援！

みらいパートナーの詳細・お申し込みはこちら | <https://join.b-soccer.jp> |

特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会







# Imagine Your Happiness

## あなたのあしたを想う

私たちは、「見る」ことで世界を知る。  
「見る」ことで人と出会い、「見る」ことで幸せを育む。  
この世界は、無数の「見る」の上になりたっている。  
だからこそ、「見る」は人生にとって、とても大切なこと。

Santen は、その「見る」に向き合う企業です。  
「見る」の可能性を探求し、広げ、深めることで、  
この星から「見る」に悩みを抱える人をゼロにする。  
「見る」ことが健やかに豊かに育まれる社会を築く。

「見る」を通じて、笑顔あふれる明日を創り出す。  
そのために、Santen は挑戦し続けます。

**参天製薬株式会社**

大阪市北区大深町 4-20 TEL 06-6321-7000 [www.santen.co.jp](http://www.santen.co.jp)

**Santen**

Imagine Your Happiness  
あなたのあしたを想う

# 見えな闘いは、 「観る」闘いへ。



マルチチャンネルで同時ライブ配信！



全試合オンライン配信



Santen IBSA BLIND FOOTBALL  
WGP 2021  
in Shinagawa

## 5/30 (日) 13時 キックオフ 日本対フランス

Santen IBSA ブラインドサッカー ワールドグランプリ 2021 in 品川 5.30@-6.5@

【大会事務局・お問合せ先】 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会 東京都新宿区百人町2-21-27 ペアーズビル3F TEL: 03-6908-8907 <https://www.wgp-blindfootball.com/>

主催：国際視覚障害者スポーツ連盟 / 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会 特別共催：品川区 共催：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会 / 一般財団法人インターナショナル・ブラインドフットボール・ファウンデーション 後援：厚生労働省 / スポーツ庁 / 公益財団法人日本サッカー協会 / 一般社団法人日本障がい者サッカー連盟 / 公益財団法人東京都サッカー協会 / 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 / 朝日新聞社 タイトルスポンサー：参天製薬株式会社 カデゴリススポンサー：TANAKAホールディングス株式会社 (共興・セレモニ) / アルファ ロメオ (プロモーション) / 株式会社 マルイグループ (プロモーション) / 天王洲アイルプラサカサポートプロジェクト実行委員会 (ホームタウン) シルバースポンサー：株式会社インソース / アクサ生命保険株式会社 サポーター：株式会社アセットリード / SMC 日興証券株式会社 / KPMGジャパン / 味の素株式会社 / 全日本空輸株式会社 / 双日株式会社 / 株式会社トーコン / RENOSY 技術協力：パナソニック株式会社 協力：佐倉市 (サイドフェンス) / 品川区応援団体連合会

感染症の拡大予防のため、無観客試合にて開催いたします



# TEAMS

出場チーム



## FRANCE フランス

世界ランキング 14 位  
IBSA BLIND FOOTBALL WORLD RANKING B1:14th

2大会ぶりのWGP出場。18年世界選手権では16チーム中15位と振るわなかったが1年で強化、ヨーロッパ選手権を準優勝し、パラリンピック出場権を獲得した。パリパラリンピックへ向けた強化の成果をここで発揮できるか。

France will be returning to the WGP for the first time in three years. The team did not do so well in the 2018 World Championships after finishing in 15th place, but became a runner-up in the 2019 European Championships after a year of reinforcement. They will be playing in the Tokyo Paralympic Games and they hope to strengthen themselves even more before returning to Paris for the 2024 Paralympic Games.



## SPAIN スペイン

世界ランキング 3 位  
IBSA BLIND FOOTBALL WORLD RANKING B1:3rd

前回のWGPでは日本を破って3位に輝いた。2019年ヨーロッパ選手権では見事優勝し、東京パラリンピックへの出場権を手にした。若い選手たちの活躍で年々力をつけているヨーロッパチャンピオンが、世界の強豪たちに立ち向かう。

Spain defeated Japan and came in 3rd place in the last WGP. The team became the 2019 European champion and became eligible for the upcoming Paralympic Games. Will this young team have what it takes to defeat some of the world's best teams?



## JAPAN 日本

世界ランキング 12 位  
IBSA BLIND FOOTBALL WORLD RANKING B1:12th

前回大会ベスト4、2019年のアジア選手権では3位に入り、世界の舞台で名を上げてきているパラリンピックホスト国。今大会では、世界ランク上位からの勝利とメダルを勝ち取り、パラリンピックで結果を出すために良い流れを作りたい。

This emerging team from the hosting country of this year's Paralympics became a semifinalist in the last championship and ranked third in 2019 Asian Championships. They hope to gain momentum for the upcoming Paralympic Games by defeating top ranking teams and winning a medal.



## THAILAND タイ

世界ランキング 13 位  
IBSA BLIND FOOTBALL WORLD RANKING B1:13th

2019年アジア選手権では4位となったが、イランの辞退によりパラリンピック出場権を獲得。前回のWGPでは、グループリーグ最下位ながらも最終的に6位に入った。最後まで諦めない粘り強い戦いで、どこまで食い下がるか。

Thailand came in 4th place in the 2019 Asian Championships, but will play in the Paralympics after Iran's withdrawal. The team started at the bottom of the league in the last WGP, but finished in 6th place by the end. Will their tenacious style leave them long enough in the championships?



## ARGENTINA アルゼンチン

世界ランキング 1 位  
IBSA BLIND FOOTBALL WORLD RANKING B1:1st

本大会、2連覇中。WGP2019優勝によって世界ランク1位に躍り出たが、2018年世界選手権、2019年アメリカ選手権でブラジルに敗れ準優勝に終わっている。WGPの3連覇でパラリンピックへ弾みをつけ、名実ともに世界一を目指す。

Although this world ranking leader has won WGP two years in a row, it has lost to Brazil in 2018 World Championships and 2019 American Championships. The team hopes to live up to its title by becoming a WGP champion for the third time.

# RESULT

試合結果を書き込もう!

	JAPAN 日本	FRANCE フランス	THAILAND タイ	SPAIN スペイン	ARGENTINA アルゼンチン
JAPAN 日本					
FRANCE フランス					
THAILAND タイ					
SPAIN スペイン					
ARGENTINA アルゼンチン					

## 今年は画面の前で 大歓声を!!

フィールドプレーヤーは味方や相手の声、ボールの音、足音など、たくさんの「音」に集中しています。相手の気配や息遣いをも感じ取り、「察知した情報をもとに頭の中にピッチを描く」と語る選手もいるため、現地での観戦では「試合中はお静かに」とお願いしていますが、今年は画面の前で、プレー中もゴール時もぜひ大歓声を送って応援してください!

### Voice up in front of the big screen!

Field Players focus on various sounds, from the voices of teammates and opponents to the sound of the ball to the footsteps. Some players even sense the slightest hint or breathing of other players and visualize the pitch in their head based on the detected information. This is why we ask the audience watching on site to remain silent during the match, but this year you can cheer up as much as you like in front of the screen, whether during the match or at the moment of the goal!!

# SCHEDULE

試合スケジュール

### 【大会形式】

5カ国で総当たり戦を行い、1位から5位までの順位が決まった後、総当たり戦の1位と2位で決勝戦、3位と4位で3位決定戦を行い、最終順位を決定します。

DAY 1	5/30 SUN	10:30	THAILAND	×	SPAIN
		13:00	JAPAN	×	FRANCE
DAY 2	5/31 MON	10:30	FRANCE	×	ARGENTINA
		13:00	THAILAND	×	JAPAN
DAY 3	6/01 TUE	10:30	ARGENTINA	×	THAILAND
		13:00	SPAIN	×	JAPAN
DAY 4	6/02 WED	OFF			

DAY 5	6/03 THU	10:30	SPAIN	×	FRANCE
		13:00	JAPAN	×	ARGENTINA
DAY 6	6/04 FRI	10:30	FRANCE	×	THAILAND
		13:00	ARGENTINA	×	SPAIN
DAY 7	6/05 SAT	10:30	3位決定戦		
		13:00	👑 決勝戦		

# YOUTUBE

観戦方法

### 全試合YouTubeにてライブ配信!

大会期間中は全試合、YouTubeにて無料ライブ配信を行います。ぜひ連日の試合観戦をお楽しみください!



日本語版



英語版

# HISTORY

過去の大会結果

## 2018

世界初の開催となった、WGP2018。歴史的な大会の開幕戦は、開催国日本と、サッカーの母国イングランドの一戦。春分の日にも関わらずみぞれが降る中、繰り広げられた両国の威信をかけた激しい戦いは、日本が後半に勝ち越し見事勝利。詰めかけた大観衆とともに喜びを分かち合った。

5日間にわたり、エリートクラス6カ国、ディベロップメントクラス3カ国で争われた2018年大会は、アルゼンチンが優勝。勝利のピクトリーロードを駆けるその姿は、この大会の位置づけを物語るものであった。プライドをかけて戦う彼らの姿は、まさにアスリートそのものであり、視覚障がい者と健常者という垣根を超え、多くの感動を生み出した。

At the inaugural WGP 2018, host team Japan faced England, the birthplace of football at the first match. Under the unusual sleet on the spring equinox, the fierce fight having each national prestige at stake was won by Japan thanks to the winning goal in the second half. Team Japan shared the joy with the packed stadium.

After 5-day competition among 6 elite teams plus 3 developing countries, Argentina topped the podium in the 2018 edition. Their jubilant victory run reflected the significance of the competition. Players fighting with pride showed real athlete images, inspiring many by overcoming boundary between people with vision impairment and the able bodied.

### 2019 COMPETITION RESULT

2019 順位

- 優勝 **ARGENTINA** アルゼンチン
- 準優勝 **ENGLAND** イングランド
- 第3位 **SPAIN** スペイン
- 第4位 **JAPAN** 日本
- 第5位 **TURKEY** トルコ
- 第6位 **THAILAND** タイ
- 第7位 **COLOMBIA** コロンビア
- 第8位 **RUSSIA** ロシア



### 2018 COMPETITION RESULT

2018 順位

- 優勝 **ARGENTINA** アルゼンチン
- 準優勝 **ENGLAND** イングランド
- 第3位 **TURKEY** トルコ
- 第4位 **RUSSIA** ロシア
- 第5位 **JAPAN** 日本
- 第6位 **FRANCE** フランス

## 2019

2020年東京パラリンピックへの機運も高まる中で開催された、WGP2019。世界のトップクラス8カ国が集い、連日熱戦を繰り広げた。数多くの名勝負、スーパープレーが生まれた2019年大会の覇者は前回大会に続いてアルゼンチン。洗練された技術・戦術、そして勝利への執念が、優勝カップを再び掴んだ。

全5日間で延べ5688名の来場を記録、前大会以上の盛り上がりを見せ、国内でのブラインドサッカーの認知向上が図られた。日本代表は、スペイン、ロシア、コロンビアと競合が集うグループリーグを見事突破し、最終的に4位に。グループリーグ最後の対スペイン戦では、1720席のスタンドが満員に。まさに会場が一体となった瞬間であった。

While the momentum to Tokyo 2020 got higher and higher, WGP 2019 was held with world top 8 teams, competing day after day in heated matches. After so many face-offs and fine plays, Argentine claimed the title for the second time. It is their sophisticated techniques and tactics, along with the tenacity toward the victory that made the team a champion again.

A total of 5,688 attendance was recorded during the 5-day competition, bringing in more excitement than the previous year to successfully improve the awareness of Blind Football in Japan. Team Japan won through the group league beating Spain, Russia, and Colombia, ending up as the 4th. The audience seats of 1,720 was full at the last match of the group league against Spain, and it was truly a moment that the whole stadium became as one.



# BASIC RULES OF BLIND FOOTBALL

## 知っておきたい ブラサカの基本ルール

ブラインドサッカー (B1クラス) は、フットサルをもとにルールが考案されたスポーツで、視覚を完全に閉じた状態でプレイします。アイマスクを着用した4人のフィールドプレーヤー (FP) と、晴眼者もしくは弱視者が務めるゴールキーパー (GK)、相手チームのゴール裏にガイド (コーラー)、自陣サイドフェンス外側に監督がいます。

通常、情報の8割は視覚から得るといわれていますが、ブラインドサッカーは視覚以外の感覚を研ぎ澄ませておこなうスポーツです。ボールを扱う技術はもちろんですが、視覚障がい者と晴眼者が力を合わせてプレイするため、ブラインドサッカーでは「音」と「声」によるコミュニケーションが重要です。

Blind Football (B1 class) was invented based on the rules of futsal, and it is played in complete blindness. A team is composed of 4 eye-shaded field players (FP), 1 low-vision or good-sighted goalkeeper (GK), 1 guide positioned behind the opponent's goal, and 1 coach positioned outside the team's side fence.

While it is said that we gain 80% of information through our eyesight, Blind Football players have to tune up other senses. Along with the ball-handling techniques, the audio communication through sounds and voices is crucial to this sport as both the visual impaired athletes and the sighted athletes play together.



### 人数は5対5

アイマスクとヘッドギアを装着したFP4人、目の見えるGK1人の計5人がピッチに入りプレーする。

### 5 to 5

A team of 5 players, 4 FP equipped with eye shades and head gears, and 1 sighted GK, competes in the pitch.

### ガイド (コーラー) は目の見える人

ゴールの後ろにいるガイドは、ゴールまでの距離や位置などをFPに声で伝える役割。フリーキックやPKの際にはゴールの支柱を叩いてFPに位置を知らせる。

### A guide is a sighted person

A guide is positioned behind the opponent's goal, giving FPs instructions on how far and where the goal is. At the time of free kicks or PK, the guide taps the goal post to tell the location.

### 「ボイ!」という声

危険な衝突を避けるため、ボールを持った相手に向かっていく時に発する声。「ボイ (Voy)」はスペイン語で「行く」という意味。声を出さずにボールを奪いに行くと「ノースピーキング」というファウルになる。

### Calling "Voy!"

In order to avoid dangerous crashes, players have to rush toward a ball-holding player calling out "Voy" meaning "Go" in Spanish. Rushing with no callout lead to "No Speaking" foul.

### 音の出るボール

ボールはフットサルと同じサイズ。金属プレートが内蔵されていて転がると音が出るしくみ。選手たちは音でボールの位置や転がるスピードを察知する。



### Sounding ball

The ball is as big as a futsal ball. It contains a metal plate inside which makes a sound while rolling, and players can judge its position and speed by the sound.

### キーパーの動き

GKが動ける範囲は縦2m、横5.82m。目の前にボールがあってもエリア外なら触れない。味方の選手をボールへと誘導するGKのコーチングにも注目。

### GK's movement

GK can move in a range of 2m long and 5.82m wide. GK cannot touch the ball outside that area even when it comes right in front of GK. GK's coaching to lead the teammates to the ball is another highlight of the game.

### サイドフェンス

両サイドライン上に1mほどのフェンスが並んでおり、ボールが場外に出て試合が頻繁に止まることを防ぎ、選手がピッチの大きさや向きを把握するのに役立つ。フェンスの跳ね返りを利用したパスはブラサカならではの。

### Side Fence

1m high fences stand along both sides of the pitch, to avoid halting the games frequently due to the ball rolling out of the bounds. It also helps players to grasp the field size and their position in the field. Using the fence to bounce back the ball to pass it to another player is the special feature of Blind Football.

# JAPAN



日本

世界ランキング12位

IBSA BLIND FOOTBALL WORLD RANKING B1:12th

## 戦術的な守りと攻めで 頂点を目指す!

緻密に練られた戦術的な攻守の連携が最大の特徴。1-2-1のダイヤモンド型の硬いディフェンスと、両サイドを広く使うパスワークで、相手に流れを渡さない。守備の要は、前回大会最優秀GKの佐藤大介(背番号1)。的確なコーチングと至近距離のシュートをもろともしないセービングで、幾度もピンチから救ってきた守護神が、日本を世界のトップに導く。

This team is known for its intricate combination of offensive and defensive tactics. The opponents will have a hard time controlling their game against Japan's diamond-shaped 1-2-1 defense and its well-spread ball movement. Last year's Best GK Daisuke Sato (No.1) will anchor the team's defense through precise coaching and acrobatic saves and hopes to lead Japan to victory.

## HEAD COACH 監督



高田 敏志  
SATOSHI TAKADA

①1967/4/21



佐藤 大介  
DAISUKE SATO

①1984/6/17  
②170cm/72kg  
③たまハッサーズ



泉 健也  
KENYA IZUMI

①1992/7/26  
②178cm/74kg  
③free bird mejirodai



寺西 一  
HAJIME TERANISHI

①1990/5/23  
②174cm/88kg  
③パベレシアル品川



佐々木 ロベルト泉  
IZUMI ROBERTO SASAKI

①1978/5/2  
②172cm/72kg  
③パベレシアル品川



川村 怜  
RYO KAWAMURA

①1989/2/13  
②169cm/64kg  
③パベレシアル品川



加藤 健人  
KENTO KATO

①1985/10/24  
②165cm/60kg  
③埼玉T.Wings



田中 章仁  
AKIHITO TANAKA

①1978/5/8  
②161cm/69kg  
③たまハッサーズ



佐々木 康裕  
YASUHIRO SASAKI

①1975/11/20  
②166cm/60kg  
③ファンタス千葉SSC  
松戸ウォーリアーズ



黒田 智成  
TOMONARI KURODA

①1978/10/9  
②164cm/59kg  
③たまハッサーズ



園部 優月  
YUZUKI SONOBE

①2003/9/1  
②166cm/55kg  
③free bird mejirodai



中川 英治  
EIJI NAKAGAWA

①1974/7/6

# FRANCE



フランス

世界ランキング14位

IBSA BLIND FOOTBALL WORLD RANKING B1:14th

## 当たり前じゃない フィジカルの強さが鍵

フィジカルの強さを生かしたディフェンスで相手攻撃陣の自由を奪い、攻撃の形を作らせない。少ない人数でも堅く守り、カウンターを狙う。連携に若干甘さがあるものの、それをカバーしきれるパワフルなプレーを見せる。キャプテンのフレデリック・ヴィルル(背番号10)の右サイドから中央へ切れ込む得意の形を作り、得点に結びつけることができる。

Their defense is physically tough, not allowing their opponents to execute their offensive tactics. Even when outnumbered, their tight defense will create chances for counter attacks. Their powerful style makes up for their slightly weak combination. Will captain Frederic Villeroux (No.10) be able to execute his signature move by cutting into the center of the pitch and scoring some goals?

## HEAD COACH 監督



TOUSSAINT  
AKPWEH  
トゥサン・アクポエ

①1966/11/1



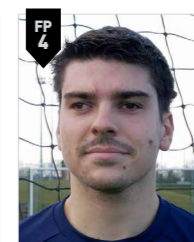
JEREMY  
SAUFFISSEAU  
ジェレミー・ソフィソ

①1985/9/10  
②178cm/70kg



BENOIT  
CHEVREAU  
ブノワ・シュヴロー

①1989/1/28  
②179cm/79kg



MICKAEL  
MIGUEZ  
ミカエル・ミゲーズ

①1994/1/12  
②171cm/70kg



HAKIM  
AREZKI  
アキム・アレズキ

①1983/3/20  
②185cm/83kg



KHALIFA  
YOUME  
カリファ・ユーム

①1982/11/12  
②178cm/76kg



BABACAR  
NIANG  
ババカル・ニャン

①1991/11/16  
②178cm/76kg



YVAN  
WOUANDJI  
イヴァン・ウアンジ

①1993/4/28  
②170cm/62kg



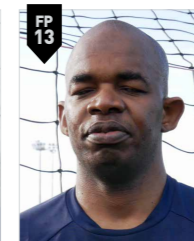
GAEL  
RIVIERE  
ガエル・リビエ

①1989/12/23  
②176cm/74kg



FREDERIC  
VILLEROUX  
フレデリック・ヴィルル

①1983/6/30  
②169cm/69kg



AHMED  
TIDIANE  
DIAKITE  
アハメド・ティディアン・  
ジャキテ

①1982/12/31  
②182cm/80kg



YANNICK  
LE COLVEZ  
ヤニック・ル・コルヴェ

①1974/1/18



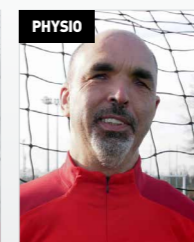
BENJAMIN  
MAIRE  
バンジャマン・メール

①1987/4/1



DANIEL  
MERIC  
ダニエル・メリック

①1950/6/24



DANIEL  
MARTINS  
ダニエル・マータンス

①1966/1/21



CHARLY  
SIMO  
シャリー・シモ

①1984/1/3



# THAILAND



タイ

世界ランキング13位

IBSA BLIND FOOTBALL WORLD RANKING B1:13th

## 注目のダークホース 急成長の実力やいかに

アジア屈指の足元の技術の高さで相手ディフェンスを左右に振りスペースを生む。ディフェンスでは縦に長いスペースが得意だが、全員で引いて相手を捕まえに行く。最後まで離れない粘り強い守りは、フィジカルで劣る強豪相手にも得意の形を作らせない。アジア選手権得点王のパンヤウット・クバン(背番号7)にボールを集められるかが勝負の鍵になる。

Thailand has one of the best footwork in Asia that creates space on the pitch. The team tends to leave vertical spaces on their defensive end, but the players cover them up through collective effort. Their tenacious defense will inhibit even the best teams in the championship from executing their offense. Panyawut Kupan [No.7], the top scorer in the Asian Championships, holds the key to the team's victory.

## HEAD COACH 監督



**KONGKIAT KONGDANPRAI**  
ゴンギアット・コンデンパイ

①1963/1/23



**PHUKARN DONGDANG**  
プーカーン・ドンデン

①1993/7/27  
②187cm/77kg



**PONCHAI KASIKONUDOMPAISAN**  
ポンチャイ・ガジゴンウドムバイサーン

①1992/2/29  
②175cm/75kg



**BANCHA MUNPHET**  
バンチャー・マンペット

①1999/8/29  
②170cm/73kg



**KITTIKORN BAODEE**  
ギッティコーン・パウディー

①1992/9/26  
②168cm/74kg



**KITTIHAT WIMOLWAN**  
ギッティタット・ウィモンワン

①1997/8/15  
②172cm/76kg



**PANYAWUT KUPAN**  
パンヤウット・クバン

①1994/5/9  
②173cm/72kg



**PRAKRONG BUAYAI**  
パクロン・ブアヤイ

①1988/12/31  
②165cm/70kg



**SANAN PHETKRACHANGSUK**  
サナン・ベックアッチャーン・スノック

①1996/10/14  
②165cm/69kg



**SURIYA YINGCHUROOS**  
スリヤー・インチュエーロツ

①1987/11/15  
②170cm/65kg



**TERKIAT BOONTIANG**  
トウーギアット・ブンティアン

①1989/10/30  
②178cm/120kg



**KRITANAI KONGDANPRAI**  
キッタナイ・コンデンパイ

①1993/2/28



**CHAIPON CHAIYAPORN**  
チャイポン・チャイヤポン・サニ(ド)ウォン・ナ・アユッタヤー

①1960/12/15



**WORASAN PHANSAWAD**  
ウォーラサーン・パンサワット

①1971/5/24



**PANYA HANLUMYUANG**  
パンヤ・ハーンラムユン

①1959/4/12



**TIM SUPHANKOMUT**  
ティム・スパンコムツ

①1977/2/25

# SPAIN



スペイン

世界ランキング3位

IBSA BLIND FOOTBALL WORLD RANKING B1:3rd

## 高い技術とスピード、 多彩な攻撃で相手を翻弄

ワイドに開いてサイドを使う攻撃と、コンパクトな守備が特徴。当たり負けしない体格の良さも併せ持つ。攻撃陣の層が厚く、4人のFPが次々に入れ替わり相手ディフェンスを翻弄、攻撃の多彩さも強さの秘密。注目は20歳のエース、セルヒオ・アラマール・ガルシア(背番号7)。足元の技術、ドリブルスピード、認知能力の高さは世界屈指。若い力の躍動に注目。

The team is known for its wide use of the pitch, tight defense, and physically strong players. Their various offensive tactics are quite tough to beat especially with 4 FPs continuously switching positions. 20 year-old Sergio Alamar Garcia [No.7] will play a key role in the championship with his top-class footwork, speed, and vision.

## HEAD COACH 監督



**JESUS DAVID BARGUERIAS MARTINEZ**  
ヘスス・ダビド・バルゲイラ・マルティネス

①1983/4/28



**PEDRO GUTIERREZ LEON**  
ペドロ・グティエレス・レオン

①1986/1/25  
②175cm/69kg



**SERGIO RODRIGUEZ OLIVA**  
セルヒオ・ロドリゲス・オリヴァ

①1987/7/11  
②186cm/74kg



**ADOLFO SAMUEL ACOSTA RODRIGUEZ**  
アドルフォ・サムエル・アコスタ・ロドリゲス

①1981/5/19  
②187cm/84kg



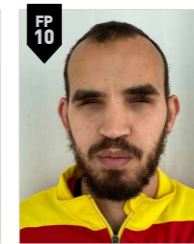
**VICENTE AGUILAR CARMONA**  
ヴィセンテ・アギラー・カルモナ

①1970/4/10  
②162cm/61.7kg



**MIGUEL ANGEL SANCHEZ LOPEZ**  
ミゲル・アンヘル・サンチェス・ロペス

①2000/4/4  
②164cm/54kg



**YOUSSEF EL HADAOUI RABII**  
ユースフ・エル・ハダウイ・ラビイ

①1988/12/28  
②176cm/68kg



**IVAN LOPEZ CUENA**  
イヴァン・ロペス・クエンカ

①1992/11/10  
②192cm/95kg



**SERGIO ALAMAR GARCIA**  
セルヒオ・アラマール・ガルシア

①2000/10/20  
②183cm/74kg



**ANTONIO JEJUS MARTIN GAITAN**  
アントニオ・ヘスス・マルティン・ガイタン

①1982/4/20  
②177cm/63kg



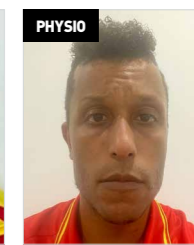
**PABLO CANTERO LOPEZ**  
パブロ・カンテロ・ロペス

①1994/4/1  
②168cm/74kg



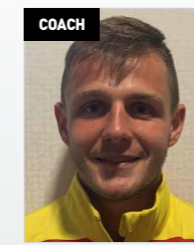
**MIGUEL ANGEL BECERRA DIAZ UFANO**  
ミゲル・アンヘル・ベセーラ・ディアス・ウファノ

①1978/7/20



**ARLINDO BRITO DOS SANTOS**  
アルリンド・ブリト・ドス・サントス

①1980/12/17



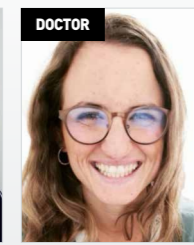
**SERGIO GOMEZ CARRERO**  
セルヒオ・ゴメス・カレロ

①1996/7/15



**JORGE PRIETO BAENA**  
ホルヘ・プリエト・バエナ

①1979/5/31



**PATRICIA NUNEZ DE AYSA**  
パトリア・ヌニェス・デアイサ

①1992/8/28



# ARGENTINA

 アルゼンチン

世界ランキング1位  
IBSA BLIND FOOTBALL WORLD RANKING B1:1st

## 世界最高レベルのプレーで 本大会三連覇へ

前回大会の得点王&MVPのエース、マキシミアノ・アントニオ・エスピニージョ(背番号15)を擁し、各選手の持ち味を完璧に発揮できる戦術を使う。全員の距離感を保ち続ける連携の取れたディフェンスを行う。攻撃では、取り所のないドリブルと、巧みなパスワークで相手ディフェンスを翻弄。流れの中で最後には、マキシミアノへボールを渡し、ゴールへ迫る。

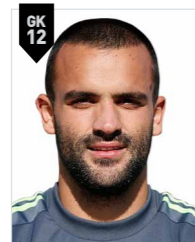
Argentina builds their tactics around Maximiliano Antonio Espinillo (No.15), top scorer / MVP in the last championship, and is known for perfectly utilizing each and every player in the team. Their clever use of space and well-coordinated ball movement allows them to take down the opponent's defense which leads to Maxi scoring on the other end of the pitch.

## HEAD COACH 監督



**RICARDO MARTÍN DEMONTE**  
リカルド・マルティン・デモンテ

①1975/4/15



**GERMÁN FRANCISCO MULECK**  
ヘルマン・フランシスコ・ムレック

①1990/5/4  
②186cm/86kg



**GUIDO CONSONI**  
グイド・コンソニー

①1990/4/9  
②170cm/80kg



**ÁNGEL RICARDO DELDO GARCÍA**  
アンヘル・リカルド・デルド・ガルシア

①1987/10/1  
②167cm/64kg



**BRAIAN EMANUEL PEREYRA**  
ブライアン・エマニュエル・ペレイラ

①1993/7/6  
②175cm/75kg



**FEDERICO MIGUEL ACCARDI**  
フェデリコ・ミゲル・アッカルディ

①1989/6/26  
②178cm/84kg



**FROILÁN DURVAL PADILLA**  
フロイラン・ドゥルヴァル・パディージャ

①1979/2/22  
②185cm/85kg



**JESÚS ÁNGEL MERLOS**  
ヘス・アンヘル・メルロス

①2003/4/18  
②163cm/52kg



**JUAN IGNACIO OVIEDO**  
ファン・イグナシオ・オビエード

①2000/11/27  
②170cm/76kg



**MARCELO ALEJANDRO PANIZZA**  
マルセロ・アレハンドロ・パニーザ

①1983/10/7  
②166cm/60kg



**MAXIMILIANO ANTONIO ESPINILLO**  
マキシミアノ・アントニオ・エスピニージョ

①1993/11/16  
②167cm/84kg



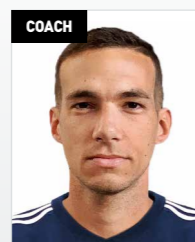
**GERMÁN ALBERTO MÁRQUEZ**  
ヘルマン・アルベルト・マルケス

①1976/11/4



**CLAUDIO HÉCTOR FALCO**  
クラウディオ・エクトル・ファルコ

①1967/3/22



**AGUSTÍN GERMÁN ROJAS**  
アグスティン・ヘルマン・ロハス

①1988/8/16



**JUAN MANUEL CRESPO**  
ファン・マヌエル・クレスポ

①1992/9/12



隣接するクラブハウス内の案内板には、選手が手で触れてわかるように凹凸がつけられている



クラブハウスから専用コートまで、選手が一人で行き来できるように点字ブロックの場所も一つひとつ確認しながら設置した

# 国内初の専用コート 「MARUIブラサカパーク」誕生！



**2** 2020年6月、東京都小平市にある丸井グループの研修施設内に、日本初のブラインドサッカー専用コート「MARUIブラサカパーク」がオープンした。2面あるコートはそれぞれ芝生の長さが異なり、出場大会の条件に合わせた練習が可能だ。さらに、ブラサカ特有のサイドフェンスも常設されている。

コロナ禍で休止していた日本代表の練習も、この場所で再開された。男子日本代表の川村裕キャプテンは感慨を込めて言う。

「トレーニングに集中できる最高の環境。ここが聖地のような場所になったらしいですね」

研修所内にあるためコートは静か。音を頼りにする選手たちにとっても最適な環境だ。クラブハウス内やコートまでの通路は、スロープや凹凸表示など、ユニバーサルデザインで設計されている。

21年2月まで約8カ月間の利用者は延べ2800人ほど。今後も男女の日本代表チーム強化や選手の育成、競技の普及などに、幅広く活用される。

選手や関係者らにとっては、念願の専用コート。ここからまた、ブラサカの新しい歴史が始まる。

